

外国人社員の母国学校に寄付

アドバンティック・レヒュース

環境に係るコンサルテ
 イング・産業廃棄物収集
 運搬などを手掛けるアド
 バンティック・レヒュー
 ス(ATR)(前橋市泉
 沢町、堀切勇真社長)の
 関連会社などで構成する
 A Tグループは3日、西
 アフリカのブルキナファ

ソンにある「KIZUNA
 High School
 I」の運営資金としてゲ
 ループ内で募った募金の
 贈呈式を三協興産(川崎
 市)で行った。
 同校は08年に来日した
 同国出身で三協興産社員
 のサウドゴ・ブレイマ

さんが、300万円を出
 資し17年に開校した中高
 一貫校。
 同国は石油・ダイヤモンド・金などの資源が
 豊富にあることで知ら
 れる。サウドゴさんは

「日本は資源は少ないが、
 人々の能力・人材が素晴
 らしい」と感じ、その背
 景には日本の教育システ
 ムがあると考えた。母国
 の発展には、日本のシス
 テムを取り入れた学校が
 必要だとの思いから、学
 校建設に至った。

サウドゴさんには、堀
 切社長をはじめ、グルー
 プ会社社員から多くの称
 賛の声が寄せられ、建設
 後の運営資金を募る運び
 となり62万円が集まった。
 堀切社長は「間を創る

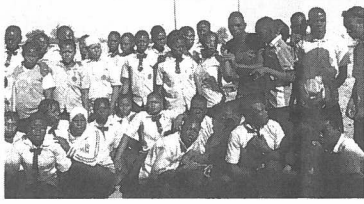


右上が堀切社長。隣がサウドゴさん

重要な要素である環境と
 教育に、苦勞して稼いだ

なお、同校の生徒数は
 現在118人だが、教員

お金を惜しみ
 なく使うこと
 は、正しく世
 界を救うヒー
 ローだと思
 う」と話して
 いる。
 サウドゴさ
 んは「母国の
 生徒、教師を
 代表して皆さ
 んに感謝を伝
 える」と語る。



サウドゴさんの学校の生徒たち

の給料がまかなえないた
 め、生徒数が250人に
 達するまでサウドゴさん
 は自費で送金を続けると
 いう。